

## 内部評価の結果

## 【評価結果】

継続

## 【評価理由】

北九州広域都市計画道路「戸畑枝光線」は、戸畑区大字戸畑を起点とし、八幡東区東田五丁目を終点とする延長約4km、4車線、代表幅員18mの自動車専用道路である。

本路線は、都市高速2号線（戸畑出入口）と同5号線（枝光出入口）を直結させるとともに若戸トンネルとも接続し、本市の目指す環状放射型の自動車専用道路ネットワークを構築する路線である。

平成24年3月に国道3号黒崎バイパス（皇后崎ONランプ～前田ランプ）、同年9月に同じく黒崎バイパス（前田ランプ）から都市高速5号線（東田出入口）への接続部および若戸トンネルが供用を開始するなど、環状放射型の自動車専用道路ネットワークの形成が進んでいるところである。

一方、戸畑枝光線の整備は、地権者や関係機関との協議等で日数を要したため、事業期間を延伸する見込みとなり、また事業費についても、人件費や資材単価の高騰等による影響、現地の施工条件を踏まえた工法の見直し等に伴い、450億円から478億円となる見込みとなったが、走行時間の短縮、市街地や周辺地域での交通渋滞の緩和及び都市高速4号線大谷～紫川間の災害時の代替ルート確保などの整備効果が見込まれることから、確実に進捗させていく必要がある。

また、本路線の完成により、産業・物流活動の支援のほか、本州や九州各地域との広域連携が促進されるなど、都市の発展を支える上で重要な道路となることから、その事業効果は高く、早期の完成が望まれていることが公共事業調整会議の中で示され、対応方針として「継続」を決定した。

なお、公共事業調整会議では、道路事業については建設事業費は事業を進める中で諸事情により増加する傾向があることから、当初の全体事業費を守れるように工夫するよう意見があり、この意見については、工事において現地で発生した土を処分するのではなく、盛土区間で利用するなど、発生土を有効活用することや施工計画立案の際に、新工法や新技術なども積極的に取り入れて、コスト縮減対策を検討していくこととする。

また、本路線は最重要路線と位置づけており、それでもなお事業費が増加する場合については、路線の優先順位を踏まえながら、計画的に進めていくこととした。